

ミニディスクロージャー

中間期(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

ごあいさつ

平素は、ハナ信用組合に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、平成30年度中間期の事業内容を収めましたミニディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただき、当組合へのご理解を一層深めていただければ幸いです。

今後とも、皆様方のご期待に応えられるよう役職員一丸となって業務に邁進して参りますので、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月



●主要科目の状況



●貸借対照表

(単位：千円)

科目	平成30年9月末	(参考) 平成30年3月末
現金	2,507,713	1,827,609
預け金	52,767,442	57,165,131
有価証券	201,900	201,900
貸出金	116,937,746	107,677,457
その他資産	803,334	778,504
有形固定資産	5,738,972	5,775,222
無形固定資産	21,972	23,929
繰延税金資産	—	—
債務保証見返	2,202,108	2,426,458
貸倒引当金	△ 3,011,726	△ 2,999,661
資産の部合計	178,169,464	172,876,552

(単位：千円)

科目	平成30年9月末	(参考) 平成30年3月末
預金積金	141,359,575	136,207,840
借入金	25,000,000	25,000,000
その他負債	437,224	538,208
その他引当金	927,882	935,838
繰延税金負債	413	827
債務保証	2,202,108	2,426,458
負債の部合計	169,927,204	165,109,174
出資金	3,124,168	3,103,982
利益剰余金	5,118,092	4,663,396
純資産の部合計	8,242,260	7,767,378
負債及び純資産の部合計	178,169,464	172,876,552

●損益計算書

(単位：千円)

科目	平成30年9月末	(参考) 平成30年3月末
経常収益	1,795,032	3,465,572
資金運用収益	1,683,359	2,976,022
役員取引等収益	108,961	252,364
その他業務収益	1,424	2,502
その他経常収益	1,286	234,683
経常費用	1,305,214	2,622,178
資金調達費用	157,386	321,206
役員取引等費用	34,310	61,678
その他業務費用	400	188
経費	1,097,486	2,188,679
その他経常費用	15,631	50,425
経常利益	489,817	843,394
特別利益	2,375	164
特別損失	0	17,877
税引前当期純利益	492,192	825,681
法人税等合計	5,915	67,200
当期純利益	486,276	758,480

(単位：千円)

業務純益	516,123	659,136
------	---------	---------

●貸出金業種別残高・構成比

(単位：千円)

区 分	平成30年9月末		〈参考〉平成30年3月末	
	残 高	構成比	残 高	構成比
製造業	357,157	0.31%	292,887	0.27%
農業、林業	4,412	0.00%	5,173	0.00%
漁業	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	846,239	0.72%	683,327	0.63%
建設業	533,396	0.46%	505,439	0.47%
電気・ガス・熱供給・水道業	360,203	0.31%	332,994	0.31%
情報通信業	3,244	0.00%	730	0.00%
運輸業、郵便業	44,727	0.04%	20,932	0.02%
卸売業、小売業	2,573,720	2.20%	2,861,595	2.66%
金融業、保険業	544,558	0.47%	485,466	0.45%
不動産業	60,420,462	51.67%	51,957,734	48.25%
物品賃貸業	8,177	0.01%	13,256	0.01%
学術研究、専門・技術サービス業	595,911	0.51%	546,746	0.51%
宿泊業	8,666,832	7.41%	7,483,343	6.95%
飲食業	2,697,893	2.31%	2,339,832	2.17%
生活関連サービス業、娯楽業	24,124,939	20.63%	25,314,641	23.51%
教育、学習支援業	1,310,713	1.12%	1,487,948	1.38%
医療、福祉	387,846	0.33%	372,323	0.35%
その他のサービス業	6,240,118	5.34%	5,984,681	5.56%
その他の産業	1,666,627	1.43%	1,635,827	1.52%
小 計	111,387,181	95.25%	102,324,882	95.03%
国・地方公共団体等	—	—	—	—
個人(住宅・消費・納税資金等)	5,550,565	4.75%	5,352,575	4.97%
合 計	116,937,746	100.00%	107,677,457	100.00%

業種区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

●金融再生法開示債権及び同債権額に対する保全額

(単位：百万円)

		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (B)+(C)=(D)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当引当率 (C)/((A)-(B))
破産更生債権 及びこれに 準ずる債権	H30.3末	2,155	634	1,520	2,155	100.00%	100.00%
	H30.9末	2,410	699	1,710	2,410	100.00%	100.00%
危険債権	H30.3末	2,034	918	859	1,777	87.38%	77.00%
	H30.9末	1,694	794	692	1,487	87.79%	77.00%
要管理債権	H30.3末	1,373	396	278	674	49.12%	28.47%
	H30.9末	1,346	395	272	667	49.58%	28.66%
不良債権計	H30.3末	5,563	1,949	2,657	4,607	82.82%	73.55%
	H30.9末	5,451	1,889	2,676	4,566	83.75%	75.13%
正常債権	H30.3末	104,627	資産の査定の基準については、金融機能再生緊急 措置法施行規則第4条に基づいております。				
	H30.9末	113,779					
合 計	H30.3末	110,190					
	H30.9末	119,231					

<平成30年9月末の算出方法>

債権区分については、平成30年3月末時点における自己査定による債務者区分を前提とし、当組合の定める基準に基づき4月1日から9月末日までに倒産、不渡り等の客観的な事象が生じた債務者および前記に準ずる事象が生じた債務者、また、履行状況等に問題のある債務者について、債務者区分の見直しを行い、債務者区分の変更が認められる先は、変更後の債務者区分を基準としております。

●有価証券の状況

- 有価証券の時価、評価差額等に関する事項は次のとおりであります。
 - 売買目的有価証券に区分した有価証券はありません。
 - 満期保有目的に区分した債券はありません。
 - その他有価証券で時価のあるものはありません。
- 時価のない有価証券は次のとおりであります。

非上場株式 201百万円

●自己資本比率

平成30年9月末時点の自己資本比率は**7.34%**です。

(単位：百万円)

	平成30年9月末	〈参考〉平成30年3月末
コア資本に係る基礎項目	8,850	8,355
コア資本に係る調整項目	12	13
自己資本額	8,837	8,342
リスク・アセット等	120,306	111,848
自己資本比率	7.34%	7.45%

自己資本比率は国内基準である**4%**を大きくクリアしております。

なお、貸出金残高が平成30年3月末対比9,260百万円増加しており、貸出金増加に伴うリスク・アセット等の増加により自己資本比率は低下しております。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}}{\text{リスク・アセット等}} \geq 4\%$$

●自己資本の充実度に関する事項

(単位：百万円)

	平成30年9月末	
	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額合計	115,168	4,606
(1) 標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	115,315	4,612
① ソブリン向け	—	—
② 金融機関向け	5,558	222
③ 法人等向け	38,557	1,542
④ 中小企業等向け及び個人向け	3,053	122
⑤ 抵当権付住宅ローン	1,031	41
⑥ 不動産取得等事業向け	55,919	2,236
⑦ 3か月以上延滞等	500	20
⑧ 出資等	201	8
出資等のエクスポージャー	201	8
重要な出資のエクスポージャー	—	—
⑨ 他の金融機関等の対象資本調達手段のうち対象普通出資等に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	250	10
⑩ 信用協同組合連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	499	19
⑪ その他	9,743	389
(2) 証券化エクスポージャー	—	—
(3) 経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	3	0
(4) 他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△150	△6
(5) CVAリスク相当額を8%で除して得た額	—	—
(6) 中央清算機関関連エクスポージャー	—	—
ロ. オペレーショナル・リスク	5,138	205
ハ. 単体総所要自己資本額 (イ+ロ)	120,306	4,812

(注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセットの額×4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。

3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、地方公共団体金融機構、日本国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いになっているもの)、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体、信用保証協会等のことです。

4. 「3か月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関及び第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。

5. 「その他」とは、①～⑩に区分されないエクスポージャーです。具体的には、固定資産、繰延税金資産、その他の資産等が含まれます。

6. オペレーショナル・リスクは、当組合は基礎的手法を採用しています。

$$\frac{\text{〈オペレーション・リスク(基礎的手法)の算定方法} \\ \text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

7. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

地域貢献活動

◆地域貢献に対する経営姿勢

当組合は、地域の在日同胞の方々が主な組合員となり、お互いに助け合い、発展していくという相互扶助の理念に基づいた金融事業を通じて、組合員の事業の発展や生活の質の向上に貢献することを活動の基本としております。

また、組合員を中心としたお取引先一人ひとりの顔が見えるきめ細かな金融取引を基本として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

◆預金を通じた地域貢献

地域の金融機関として、組合員をはじめとするお客様のライフステージをサポートするため、各種預金商品を取り揃え、お預かりしたご預金は、事業を営む皆様の設備資金や運転資金としてご融資しております。

また、個人のお客様には住宅ローン等のご融資を通じて、生活環境の向上、地域発展のためにご活用いただいております。

◆融資を通じた地域貢献

当組合は、組合員の皆様方へのご融資を通じて地域の経済活動、組合員の事業支援並びに個人の皆様の生活向上に役立てられるよう多種多様な商品を取り揃え、円滑な資金供給に努めております。

① 貸出状況

事業者：運転資金	42,991百万円	設備資金	68,925百万円
個人：住宅ローン	3,676百万円	消費者ローン	971百万円

② 新規創業支援ローンの取扱状況

新規創業者支援ローン「ウンウォン」	80件	353百万円
女性・若者・シニア創業サポート事業	9件	88百万円

③ 在日本朝鮮商工会推薦融資の取扱状況

4件 5百万円

④ 地方自治体の制度融資の取扱状況

43件 262百万円

◆文化的・社会的貢献に関する活動

① 1都8県の朝鮮幼稚園、朝鮮学校初級部、中級部の新入生全員に記念品(学習文具・カバン)を贈呈し、民族教育を応援しています。

② 各地域後援会等が開催する講演会やセミナー、ゴルフ、旅行等の親睦行事を積極的にサポートしています。

③ 「しんくみの日週間」の活動として献血運動に3名の職員が参加しました。

④ 「省エネルギー対策」として、電気の間引きやエレベーターの一部稼働停止、意識的に空調室温を抑えることで電力使用量の削減に努めています。

◆トピックス

4月 2日	2018年度入組式	7月 27日	川崎支店総代会
6日	第16回東京地域親睦ゴルフコンペ	8月 2日	新入職員フォローアップ研修会
9日	大和支店後援会ゴルフコンペ	3日	松本支店長野地域拡大総代会
11日	第7回埼玉地域合同ゴルフコンペ	9月 1日	渉外研修会
28日	役職員全体会議	4日	松本支店「ハナの木」第12回ゴルフコンペ
5月 15日	合同防災訓練の実施	8日	融資担当者研修会
6月 22日	第17回通常総代会	9日	神奈川地域会第5回ハナカップ(フットサル)
7月 7日	渉外研修会	12日	課外授業(東京第一、東京第四初級部6年)
19日	亀戸支店地域拡大総代会	19日	宇都宮支店栃木地域拡大総代会
21日	預金実務研修会	21日	池袋支店ハナ池会「屋形船の集い」
24日	神奈川地域ハナ次世代会ゴルフコンペ	29日	指導監督職スキルアップ講座

●各地域イベント●



池袋支店ハナ池会「屋形船の集い」



神奈川地域 ハナ次世代会第5回ハナカップ(フットサル)



第16回東京地域親睦ゴルフコンペ



第7回埼玉地域合同ゴルフコンペ



亀戸支店地域拡大総代会



松本支店長野地域拡大総代会



川崎支店総代会



宇都宮支店栃木地域拡大総代会



課外授業(東京朝鮮第1初中級学校 初級部6学年) 場所:当組合 上野支店



課外授業(東京朝鮮第4初中級学校 初級部6学年) 場所:当組合 上野支店

●組合イベント●



合同防災訓練



2018年度入組式



青年会バーベキューの集い



役職員全体会議(左から表彰式・懇親会・余興)



融資担当者研修会



渉外研修会



預金実務研修会

日頃のご愛顧に感謝を込めて!
お客様と共に〈未来〉に向かって!

定期預金
チャレンジ3年物
〈未来〉

新登場!

組合員限定定期預金 ご加入と同時に契約できます

キャンペーン期間特別利率

利率が満期日まで変わらず安定した運用ができます

年 **0.7%**

個人
税引後
0.557%
0.592%

募集総額
100億円

募集総額に達し
次第締切らせて
いただきます

キャンペーン期間 2018年9月3日(月)~2019年3月29日(金)

基本商品	スーパー定期(単利型・複利型)	預入条件	新規預け入れに限ります
対象	10万円以上	預入期間	3年限定 自動継続は取扱い可
お取扱い対象	個人の組合員(複利型限定) 法人の組合員(単利型限定)		

【商品概要】

- 基本商品：スーパー定期・自由金型定期預金(M型)単利型(法人の方)複利型(個人の方)
- 預入条件：新規預け入れに限ります。
- 自動継続の取扱いについて：初回満期到来日以降は、定期預金「チャレンジ3年物」にて自動継続されます。但し、定期預金「チャレンジ3年物」の販売が終了した場合には、店頭表示金利でのスーパー定期預金として自動継続されます。
- 支払方法：満期日以後に一括してお支払いします。● 期限前解約については、当組合所定の中途解約利率を適用します。
- 税金：個人の方はお利息に復興特別所得税を付加した20.315%の(国税15.315%、地方税5%)の税金がかかります。ただし、マル優をご利用の場合は非課税となります。
法人の方は総合課税となります。
- その他：◎ 総合口座のお取扱いはいいたしません。◎ 満期日以降のお利息はお支払日における普通預金金利により計算します。
◎ 商品は金融情勢その他の事情により、予告なしに商品の内容・金利等見直し、または取り扱いを中止することがございます。

本商品は、預金保険制度(元本1,000万円までとその利息)の対象預金です。

詳しくは、窓口または担当者までおたずねください。

これからもお客様から愛され信頼される“マイバンク”を目指します。



ハナ信用組合
www.hanashinkumi.com

ハナ信組

検索

